

- 岩手IT研究開発支援センターの利用公募開始について
- 平成17年9月30日

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)では、平成12年度補正予算で産学連携によるIT研究開発の促進及び大学エリアへの研究機関の集積による地域産業構造の高度化を目的として、新技術、新事業の創出効果の大きいIT分野(インターネット技術等)に関する情報通信研究開発支援施設を岩手県滝沢村に岩手IT研究開発支援センターとして整備し、平成14年4月から利用が開始されております。

岩手IT研究開発支援センターでは、地域住民の生活向上に関連性の深い、医療、福祉、教育等に有効なコンテンツをネットワーク上で扱うための情報通信技術等を中心としたIT関連の研究・開発が行えるほか、研究指導員による技術指導も実施いたします。つきましては、岩手IT研究開発支援センターの利用希望者を下記により公募することと致しましたのでお知らせいたします。

今回の公募による利用期間は、平成17年12月から平成18年3月です。多数のご応募をお待ちしております。なお、センター運営期間終了に伴い、今回が最後の公募利用となる予定です。

記

- 1 公募の期間: 平成17年10月3日(月)～平成17年10月28日(金)
- 2 公募の要領: 別添資料のとおり
- 3 公募説明会 次の日程で公募説明会を開催します。(詳しくは、別添資料のとおりです。)
平成17年10月4日(火)

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
奥山 利幸、大野 由樹子
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<公募に関する問合せ先>

岩手IT研究開発支援センター担当
拠点研究推進部門 支援センター推進室
横山康雄
Tel:03-3769-0230
Fax:03-5439-7320

別添資料

岩手IT研究開発支援センター設備の概要

利用公募案内

1 施設所在地

岩手IT研究開発支援センター
岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152番地89

2 利用公募説明会

- (1) 日時:平成17年10月4日(火) 14時00分～15時00分
- (2) 場所:岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152番地89
岩手県地域連携研究センター内 プレゼンテーション室

3 利用の方法

(1) 公募による利用

今回公募する利用期間は、平成17年12月から平成18年3月分です。利用を希望される方は応募をお願いいたします。応募していただいた方の中から利用者を審査により決定いたします。

なお、4か月間の利用許可を受けた方は、4か月間のうちおおむね8日程度の日数について短期利用希望者への利用のため、設備の利用を調整させていただくことがあります。

(ただし、短期利用希望がない場合は、この限りではありません。)

(2) 公募締切後の短期利用

公募期間を過ぎた後でも、施設利用に充分余裕があると認められた場合に調整可能な範囲で利用の申し込みを受け付けます。(提出書類等は今回の利用公募と同一です。)

4 応募方法

(1) 応募の方法

研究開発・利用申請書及び研究開発・計画書など提出書類((3)参照)に必要事項を記載して、受付期間内に提出方法に従ってご提出ください。

(2) 事前の相談

応募に関して相談に応じます。ご相談希望の方は、問い合わせ先までご連絡ください。

(なお、公募説明会において詳しい説明を行う予定です。)

(3) 提出する書類

提出テーマごとに、次の書類をご提出下さい。

- ・研究開発・利用申請書……………1部
- ・研究開発・計画書……………1部
- ・計画書添付資料……………1部

提出書類は、利用許可／利用不許可のいずれかの場合も返却いたしません。

提出書類の機密保持については充分配慮いたします。

(提出書類の様式は公募説明会の際に配布いたします。)

当センターのホームページ(www.iwate-it.nict.go.jp)からもダウンロード可能です。)

(注)テーマ名及び企業・団体名の公表について(お願い)

応募の内容は機密扱いといたしますが、支援センターの活動を紹介するために、応募テーマ名と企業・団体名の公表にご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、これらの公表の可否について利用申請書の該当欄に必ずチェックをしてください。

(4) 受付の期間(公募期間)

平成17年10月3日(月)～平成17年10月28日(金)

(5) 提出の方法

上記の受付期間内に、提出書類を次の部署あて郵送、またはご持参ください。

(期限内必着でお願いいたします。)

なお、FAXによるご提出はご遠慮ください。

独立行政法人情報通信研究機構
岩手IT研究開発支援センター 担当 小笠原
〒020-0173 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152番地89
電話:019-694-9660

5 利用の条件(概要)

(1) 審査・許可

利用申請書の研究内容等に関して、独立行政法人 情報通信研究機構において審査し、許可された方に利用していただきます。

(2) 利用の開始

今回の公募に係る利用開始は、平成17年12月1日(木)からの予定です。

(3) 利用時間

施設等の利用時間は、原則として土曜、日曜、祝日(振替休日を含む)及び年末年始(12月29日から1月3日)を除いた日の9時から17時までとします。

(4) 利用料金

施設等の利用にあたっては、別に定める利用料金を負担していただきます。
また、4か月を超える利用の場合でも4か月ごとに利用料金をお支払いいただきます。

(5) 研究成果

研究が終了した場合は、その研究成果(利用報告書の様式による)を報告していただきます。
4か月を超える継続テーマにつきましては、4か月ごとに中間報告(利用報告書の様式による)の提出をお願いいたします。また、この研究成果は、申し出によりやむを得ないと認められる場合を除き、原則として公開させていただきます。

(6) その他

施設をご利用になる方は、上記の利用条件を含め、施設の利用規約に従っていただきます。

6 設備の概要

施設の設備概要等は、別紙のとおりです。

別 紙

岩手IT研究開発支援センター設備の概要

(1) インタラクティブCATV研究設備

デジタル放送のリアルタイム映像上の動画オブジェクトに対して、その関連情報サービスをインターネットを介して直接受け取ることを可能とする技術(ハイパーリンク)を利用した研究開発、及び双方向通信用コンテンツの製作と管理が行えるツールに関する研究開発が可能です。

本研究設備は、インターネットサービスコネクタサーバ、インターネットアプリケーションサーバ、コンテンツ・オーサリング/管理サーバ、ビデオチャージャーなどの高性能サーバ群、クライアントワークステーション、MP EG-2エンコーダー、ケーブルモデム、セットトップボックス、32型デジタルテレビ、及び無線LAN・モバイル端末、ギガビット対応ルータ・スイッチ等から構成されています。

(2) 大規模サイバースペース研究設備

大規模なサイバースペースを実現するため、有線およびモバイル・ネットワーク経由でさまざまなデバイスからアクセスする多数のユーザを管理し、ユーザの興味に応じて動的に形成されたグループ内での非同期およびリアルタイム・コミュニケーションを可能にするスケーラブルで頑強なシステム基盤についての研究開発が可能です。

本研究設備は、インターネットアプリケーションサーバ、エージェントサーバ、データベースサーバ、ユーザ/機器管理サーバ、認証プロキシサーバ、トランスコーディング・プロキシサーバなどの高性能サーバ群、クライアント端末、モバイル端末および無線LAN、ギガビット対応ルータ・スイッチ等で構成されています。

(3) インターネット統合研究設備

インターネット(IPv4及びIPv6)におけるEnd-to-Endパフォーマンスを測定し、その特徴解析を行い、特徴解析の結果をサービスあるいはアプリケーションから利用できるような形式を確立する研究開発が可能です。

また、Webページのコンテンツ構造やリンク情報、Webページのアクセス数などを分析することにより、インターネット上のコンテンツの流行分析、情報検索、WebページやWebサーバの配置の再設計などを支援する視覚化技術の研究開発が可能です。さらに、時系列で変化する巨大データベースからベクトル空間モデルを用いてその中で特異変化が発生した際にユーザに当該情報をQos制御技術を用いて通知する情報視覚化視聴覚化システムの研究開発が可能です。本研究設備は、インターネットアプリケーションサーバ、キャッシング・プロキシサーバ、大規模データベースサーバ、検出・検索エージェントサーバ、ビジュアルライゼーションサーバ、などの高性能サーバ群、マルチメディアクライアント端末、各種クライアント端末(MacOS、Windows、Linux系)、22型超高精細液晶表示装置、計測用クライアント端末、解析用クライアント端末、トラフィック制御用クライアント端末、回線シミュレータ(ワークステーション)、および無線LAN、ギガビット対応ルータ・スイッチ等で構成されています。

(4)遠隔ヘルスケア支援研究設備

マンマシンインターフェースに優れた家庭用情報端末と地域CATVネットワークを用い、在宅で健康管理、ヘルパー派遣スケジュール調整、生活用品調達等ができる保健・医療・福祉・物流融合型「生活圈ネットワーク」の構築・運用技術に関する研究開発を行うための設備です。

主な機器として、ATM-LAN、EthernetLAN、擬似CATV回線、通信回線、ADSL回線のネットワークにより、P-C-AT 互換のサーバパソコン等を接続します。これらのネットワークを通してセンター端末間で各種健康管理データの双方向通信が可能となる通信環境を提供することが可能となります。

(5)防災・災害情報ネットワーク研究設備

無線技術等を用いて、災害に強いネットワークを構築する為の技術についての研究開発であり、岩手山周辺の施設をフィールドに行います。また、無線と有線を接続した複合ネットワークをもとに、通常時には行政情報や防災用として、災害時は住民レベルの双方向通信を可能とすることに加え、避難・安否情報や医療・物資情報をインターネットにより受発信できる情報ネットワークの研究開発を行う為の設備です。

IPv6をベースとした設備により構成し、災害・防災情報通信ネットワークプロトコルの開発や利用者端末のGUI環境の開発、または災害・安否情報の為のデータベースシステムを開発し得よう構成されています。

(6)超高精細映像転送技術研究設備

非圧縮HDTVフォーマット、非圧縮D1フォーマット等多様な超高精細映像や音響データをそれらの品質と信頼性を保障する超高精細複合メディアストリーム転送技術の確立の為の研究開発が可能です。

本研究設備は、高精細映像符号化伝送装置(サーバ)、高精細映像符号化伝送装置(クライアント)、高精細映像符号化伝送装置用コンソール、ギガビットスイッチ、HDTV用VTR、D1VTR、ATMスイッチ及びメディア変換ルータで構成されます。

(7)高速バーチャルスクール技術研究設備

県内の小中学校及び大学教育の為、遠隔地間に高精細動画像やサラウンド音響等による現実感や臨場感を伴う仮想教室を実現させ、超高精細画像コンテンツによる教育用VODシステムにも利用可能な高度遠隔授業支援システムの研究開発が可能です。

本研究設備は、VODサーバ、ギガビットスイッチ、映像伝送変換装置、エンコーダ、VODクライアント、デジタルビデオカメラ及びメディア変換ルータから構成されます。

(8)伝統工芸仮想空間技術研究設備

地域分散する文化・伝統工芸データベースの再利用による地域産業の促進と文化保存のためのアーカイブシステム及びVRシステムを利用し、感性を反映した伝統工芸仮想空間の表現及び体験システムの研究開発が可能です。

本研究設備は、3DCGエンジン、3次元立体映像装置、ギガビットスイッチ及びメディア変換ルータで構成されます。